

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内) ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
①県内大学進学者の確保	自県進学率の維持 (県内大学および短大への進学者/大学および短大への進学者)  2023年度目標 40.0%	(取組1) 大手予備校講師等が高校生および保護者向けに県内大学進学の魅力を紹介する進学アドバイス講座を開催	(取組1の活動指標) 進学アドバイス講座の開催 : 1回以上/年	(取組1の活動実績) 大手予備校講師による県内大学必勝講座を秋に4日間8講座(対面)、冬に3講座(オンデマンド配信)を開催。	A 受講者アンケートでは、8～9割が「良い」または「まあ良い」という評価であった。
		(取組2) 県内高校生の県内大学志願動向を分析し、高大接続対策に反映	(取組2の活動指標) データの分析・検討会の開催 : 1回以上/年	(取組2の活動実績) 福井県高校生進路選択調査を実施し、分析・検討を実施した。	A 県内高校生の県内・県外の大学進学動向が確認できた。
		(取組3) 高大連携接続教育研究会による高校生への開放講義や模擬講義の開催	(取組3の活動指標) 開放講義や模擬講義の開催 : 20回以上/年	(取組3の活動実績) 模擬授業や学科説明会、進路ガイダンス、学問発見講座等、県内17校(事業数としては20件)で実施、延べ3,294人が参加した。	A 多くの高校生を対象に、模擬授業等を実施することができた。
②県内高等教育機関の教育内容の充実および交流の拡大	大学連携センターの利用人数  2023年度目標 12,000人	(取組1) 福井県の特長的な自然と環境、産業と経済、地域と社会の各分野について講義を共同で開講することにより、幅広い科目の履修機会を学生に提供する。これらの講義は県内すべての高等教育機関のサテライトキャンパス“大学連携センター Fスクエア”において開講する。	(取組1の活動指標) 単位互換による科目の開講数 : 30単位以上/年	(取組1の活動実績) プラットフォーム内の高等教育機関を対象とする単位互換による授業について、前期25科目、後期23科目の開講、計48科目で延べ2,701名が受講。	A 目標を達成し、前年度に対し科目数、受講者数共に更に増加させることができた。
		(取組2) 大学の垣根を越えた交流会の開催など、大学連携センターの共同活用 (活用例) ・大学生等と留学生、県内高校生が英語を通じて国際交流に親しむイベント(…①) ・県内企業の経営者や若手社員と大学生等との交流会(…②) ・地域団体と大学生等とのワークショップ(…③)	(取組2の活動指標) 大学生等が交流できるイベントの開催: 20回以上/年	(取組2の活動実績) 大学連携センターにて大学生等が交流できるイベントを実施 ①…1テーマ 6回 ②…7テーマ 17回 ③…1テーマ 1回 計: 9テーマ 24回	A 大学連携センターを共同活用し、活用例に掲げる交流イベントを開催することができた。

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内) ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
③教員の教育力向上および事務職員の管理運営等の資質向上	共同FD・SD研修会への参加者 2023年度目標 400人	(取組1) 県内大学等が共同でFD・SD研修会を開催	(取組1の活動指標) 研修会の開催：4回以上/年 初年度から50名ずつ増加	(取組1の活動実績) オンライン授業に関するFD研修会(30名)、認証評価に関するSD研修会(20名)を実施した。	B 複数の研修会を開催することができた。
		(取組2) 共同IRの実施 (活動例) 学生意識調査アンケート 学生の学びや成長に対する意識とその変化を捉え、学生理解や教育方針の決定、カリキュラム設計等に役立てるため学生意識調査を実施	(取組2の活動指標) アンケートの実施：1回/年	(取組2の活動実績) 詳細な福井県高校生進路選択調査を実施し、県内大学、産業界、自治体等とデータを共有し、分析・検討を実施した。	A 県内高校生の県内・県外の大学進学動向を詳細に確認することができた。
④県内大学連携による県内の課題解決	共同研究の実施件数 2023年度目標 5件	(取組1) 県内大学等や研究機関が連携して地域貢献に関する研究を実施	(取組1の活動指標) 共同研究の実施件数 ：初年度から1件ずつ増加	(取組1の活動実績) 大学と企業等との一体的な研究推進事業として、「カーボンニュートラル」をテーマに3件の調査研究を実施した。	B それぞれの課題研究テーマで3件の研究を実施できた。今後も地域貢献に関する研究テーマを検討しながら実施していく。
		(取組2) 県内大学等と産業界、県が共同企画した県内企業等でのインターンシップを実施	(取組2の活動指標) 県内企業等でのインターンシップ参加者数 ：初年度から25名ずつ増加	(取組2の活動実績) 県内大学等と産業界(福井県経営者協会)、県が連携して実施するインターンシップに、県内外の学生368名が参加した。	B 三者の連携により、インターンシップを実施することはできたが、目標の参加人数には至らなかった。

様式3) 達成目標・活動指標等（おおむね10頁以内） ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
④ 県内大学連携による県内の課題解決	産業特性に合った人材育成プログラムの実施数 2023年度目標 50件	(取組3) 本県の産業特性に合った人材育成教育プログラムの開発	(取組3の活動指標) 教育プログラムの実践数 ：初年度から10件ずつ増	(取組3の活動実績) 地域人材育成事業において、福井大学・福井工業大学・関西電力(美浜事業所)との連携による原子力コンソーシアム人材育成事業を実施。	D プログラムの開発及び実施をしたが、目標の件数に至っていない。 今後事業内容の見直しを含め検討する。
	県民対象の共同公開講座への参加者数 2023年度目標 100人	(取組4) 県内大学等が大学連携センター等において共同で公開講座を開催	(取組4の活動指標) 共同公開講座の講座数 ：4講座以上/年	(取組4の活動実績) 共同公開講座として、各大学等の強みを活かしたリスキリングプログラム(14講座)を開催し34名が参加した。	B 目標を上回る数の共同公開講座を開催することができたものの、参加者数は未達におわった。
	社会人の受入れ体制の構築 2023年度目標 3件 20講座	(取組5) リカレント教育を促進するため、県内大学等が連携して社会人の受入れ体制の検討会を開催	(取組5の活動指標) 検討会の開催 ：1回以上/年	(取組5の活動実績) 今年度は社会人教育として、各大学等の強みを活かしたリスキリングプログラム(14講座)を開催し34名が参加した。	B 目標講座数には届かなかったが、社会人を対象とした共同公開講座を開催することができた。
	連携事業の構築	(取組6) 産業界と県内大学等との連携強化のための検討会を開催	(取組6の活動指標) 検討会の開催数 ：1回以上/年	(取組6の活動実績) 自治体、経済界、医療界、金融界等との意見交換を対面にて実施した。 令和5年12月に実施。	A 各実行部門の進捗状況の報告や参画機関による情報提供を行い、今後の対応や課題などを検討した。